MASPRO

超高性能 UHFテナー （家庭用）

ULTRA-SUPER UHF TENNA

UHF ch13〜36

LS14TMH

（14エレメント）

東・名・阪 地上ディジタル放送受信専用

取扱説明書

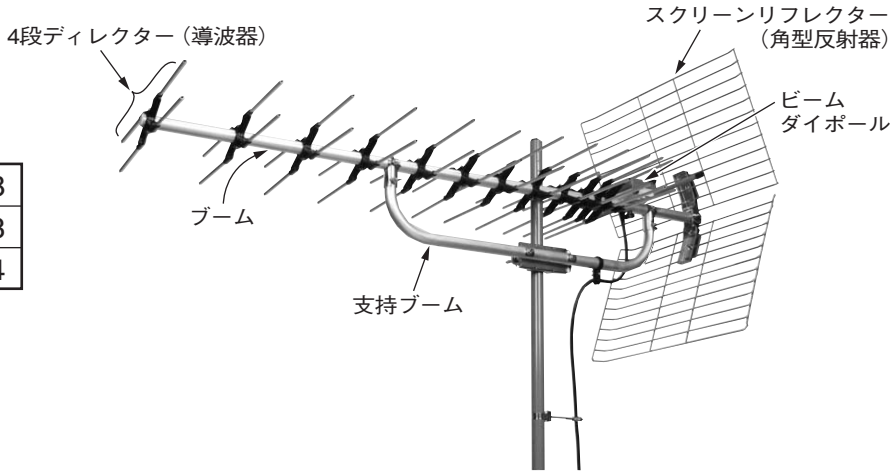
水平・垂直偏波用

75Ω用

ラブストーリー
LOVE STORY

東京・名古屋・大阪の地上ディジタル放送受信に最適なUHFアンテナです。

地上アナログ放送も受信できます。



地上ディジタル放送チャンネル

東京タワー （東京）	ch20〜28
瀬戸タワー （名古屋）	ch13〜23
生駒山 （大阪）	ch13〜24

大型スクリーンリフレクター（角型反射器）

大型スクリーンリフレクターによって，前後比が優れていますから，後方からの反射波による妨害を軽減して，きれいな画像を見ることができます。

4段ディレクター（導波器）

1つのホルダーに4本のエレメントを配置した高性能ディレクター（導波器）を採用していますから，高利得です。

ビームダイポール

フェイズシフター（位相器）を内蔵したマスプロ独自のビームダイポールは，広帯域にわたって，利得，VSWRが優れています。

アルミ製二重ブーム

アルミ製のブームと支持ブームによる，二重ブーム構造となっていますから，軽量で丈夫です。

⚠注意 アンテナを高所や屋根に設置する場合，技術と経験が必要で危険ですから，必ず購入店にご相談ください。

アンテナ取付作業の注意点

- アンテナを取付けるときは，落下防止のため，アンテナや取付金具・工具をヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。
- 高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また，屋根に登ると，思ったより高く感じられ，足場も不安定です。滑らないように，充分気をつけて作業してください。
- アンテナの取付け・支線張りなどの作業は，必ず2人以上で行なってください。
- 雨降り・強風など，天候の悪い日の取付作業は非常に危険ですから，絶対にしないでください。また，夏の炎天下では，屋根が非常に熱くなっていますから，注意してください。
- 感電防止のため，アンテナは電線（電灯線・高圧線・電話線など）からできるだけ離れた（万一，倒れても電線に触れない）場所に設置してください。
- 台風や大雪などによって，アンテナ・取付金具・マスト・ルーフベース（屋根馬）・支線などに異常があったり，ボルト・ナットなどがゆるんだりしていないか，必ず点検してください。また，アンテナが破損・変形した場合，新しいものと交換してください。

  そのままにしておくと，アンテナや取付金具などの部品が，破損・落下して，けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。

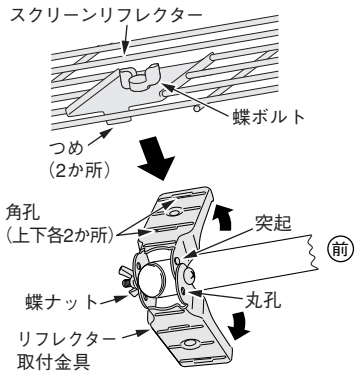
MASter of PROduction 生産の覇者

マルチメディアの MASPRO ＝マスプロ電工＝

組立方法（水平偏波を受信する場合）

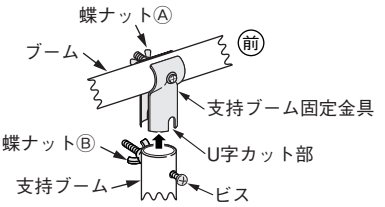
ブームと各エレメントの水平・垂直をよく確かめて，すべての蝶ナット・蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

スクリーンリフレクター

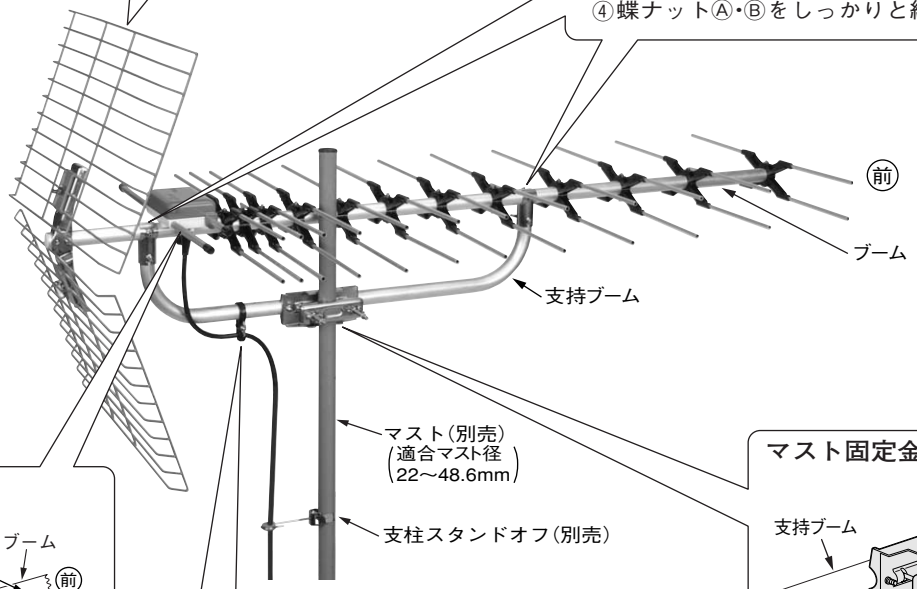


① リフレクター取付金具の突起が丸孔に入るまで広げます。
② リフレクター取付金具の蝶ナットをしっかりと締付けてください。
③ スクリーンリフレクターのつめをリフレクター取付金具の角孔に差込んで，蝶ボルトをしっかりと締付けてください。（上下のスクリーンリフレクターを取付けます。）

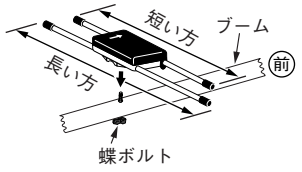
支持ブーム固定金具



①支持ブーム固定金具を固定している蝶ナットⒶをゆるめます。
②支持ブームに付いている蝶ナットⒷをゆるめ，ビスの頭を引き出します。
③支持ブーム固定金具のU字カット部にビスを挿入します。
④蝶ナットⒶ・Ⓑをしっかりと締付けてください。

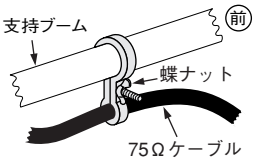


ビームダイポール



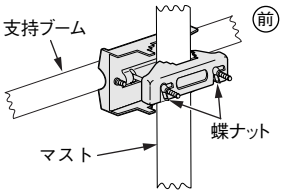
ダイポールの短いエレメント側を前方向に向けて取付けてから，蝶ボルトをしっかりと締付けてください。

ケーブルストッパー



蝶ナットをゆるめ，ケーブルを取付けてから，蝶ナットをしっかりと締付けてください。

マスト固定金具

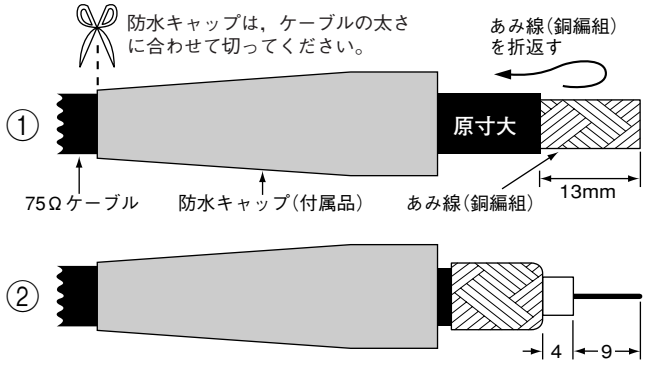


蝶ナットをゆるめ，マストを通してから，蝶ナットをしっかりと締付けてください。

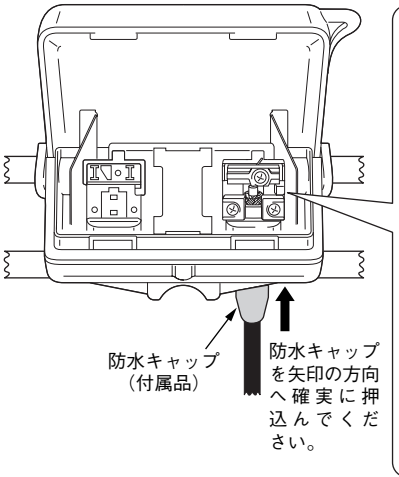
ケーブルの接続方法

ケーブルの加工

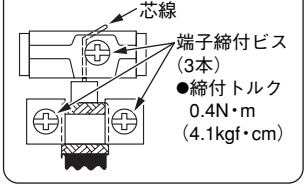
- 75Ωケーブルは，**5C**または**4C**をお使いください。
- ケーブルを付属の防水キャップに通してから，先端を加工してください。



ビームダイポールへの接続

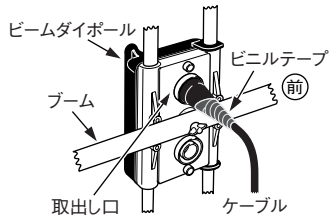


- 芯線は，あみ線（銅編組）に触れないようにしてから，まっすぐ挿入してください。はみ出した芯線は，曲げてください。
- あみ線（銅編組）が，芯線を取付ける端子に触れないようにしてください。
- 端子締付ビス（3本）を指定のトルクで締付けてください。

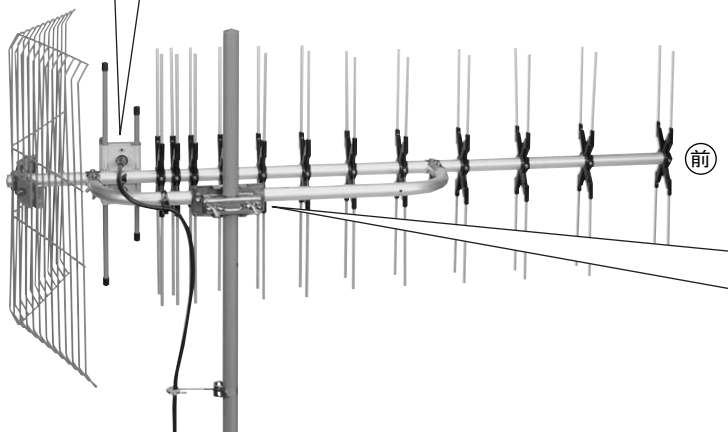


垂直偏波を受信する場合

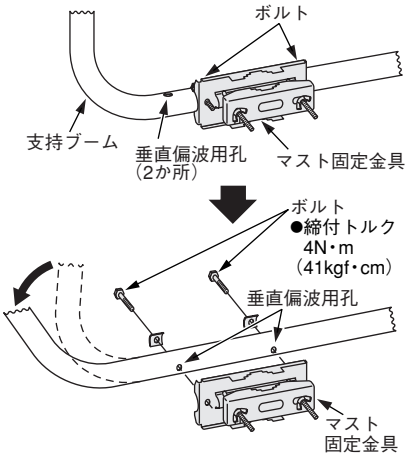
ビームダイポール



●ケーブルの取出し口を上にします。
●防水のため，市販のビニルテープを巻いてください。



マスト固定金具



① マスト固定金具と支持ブームを固定しているボルトを取外します。
② マスト固定金具を垂直偏波用孔に付換え，ボルトをしっかりと締付けます。

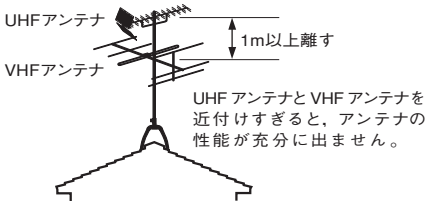
アンテナ設置の注意点

現在受信しているアナログ放送（VHF・UHF）と混合するかしないか，また，受信する地区によって，受信方法が異なります。

東京地区　：VHF放送と混合するためには，ミキサーやブースターが必要となります。詳しくは購入店にご相談ください。

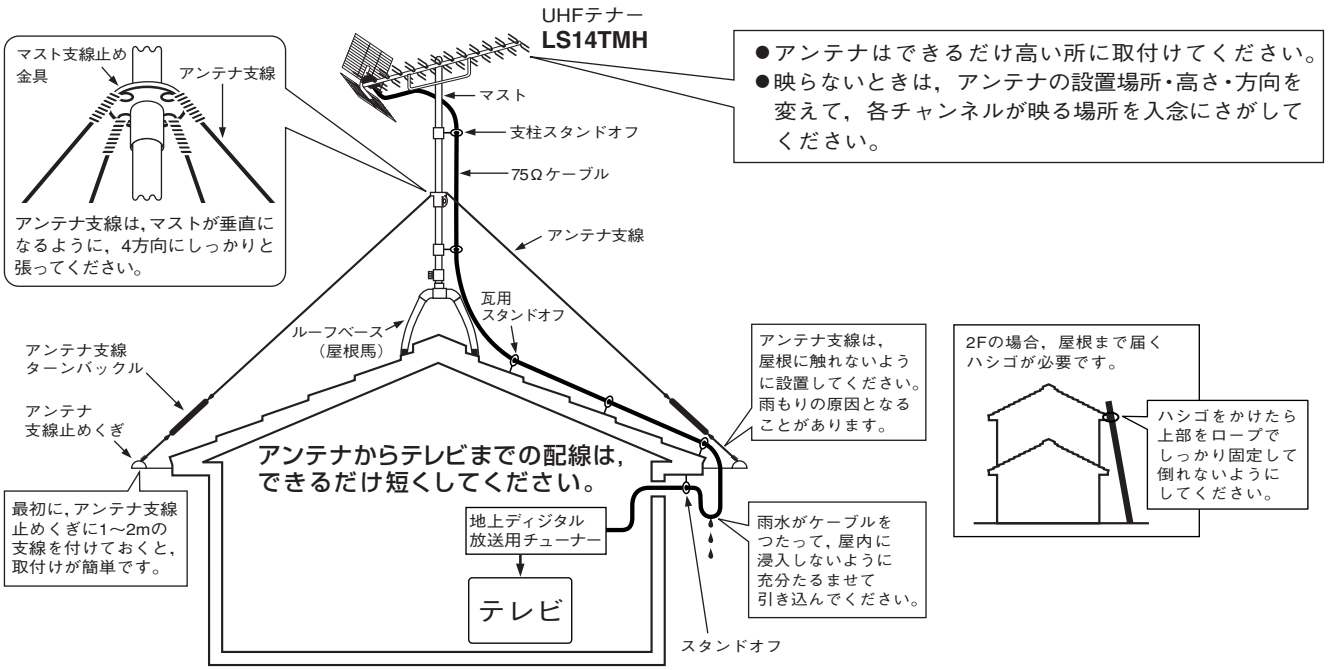
名古屋・大阪地区：現在受信中のVHF放送やUHFアナログ放送と混合する場合，購入店にご相談ください。

VHFアンテナが付いているマストにUHFアンテナを取付ける場合



地上ディジタル放送だけを受信する場合

UHFアンテナと地上ディジタルチューナーを直接接続して，地上ディジタル放送だけを受信する例です。



アンテナの方向調整

①アンテナを左右に回転して，UHF電波到来方向に，アンテナの向きを合わせてください。
　●ディジタル放送の場合，テレビの「アンテナ設定」画面に表示される「アンテナレベル」の値が最大になるように，アンテナの向きを調整してください。
　●アナログ放送の場合，テレビの画面を見ながら，最良の画像になるようにアンテナの向きを調整してください。
②アンテナの向きが調整できたら，アンテナやマストをしっかりと固定してください。

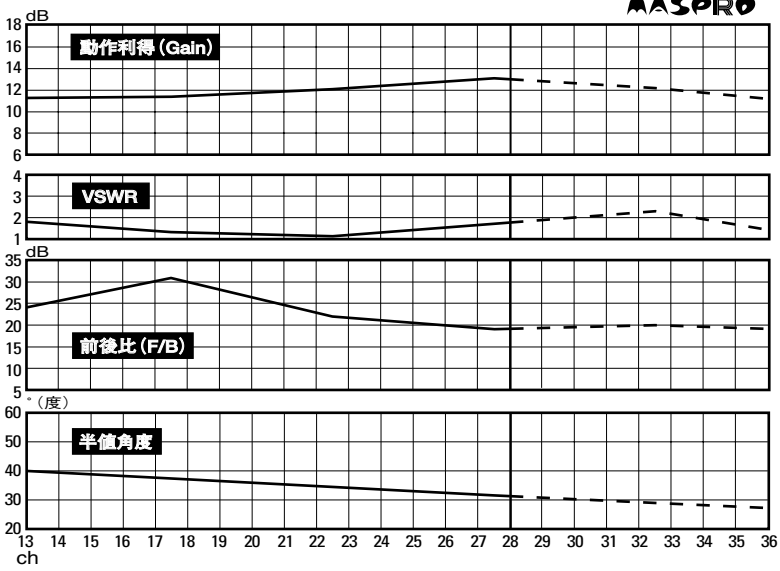
規格表

MASPRO

項目	規格	
受信チャンネル	ch13～28	ch29～36
エレメント数	14	
インピーダンス	75Ω	
動作利得	11～13.5dB	10.5～13.5dB
VSWR	2.5以下	3以下
前後比	18dB以上	
半値角度	25～42°	
適合マスト径	22～48.6mm	
外観寸法	1160(L)×495(W)×560(H)mm	
質量（重量）	約2.4kg	

性能

MASPRO



指向性能

指向性は前後比と半値角度で表します。

前後比(F/B)について

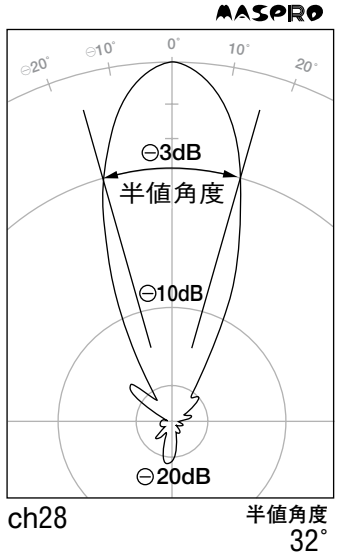
前後比は前方と後方の感度の比をdBで表したものです。前後比が大きいほど，後方からの反射波による妨害が軽減されます。

半値角度について

半値角度は指向性の鋭さを示し，半値角度が狭いほど，

- 前方からの反射波による妨害が軽減できます。
- 動作利得が高くなります。

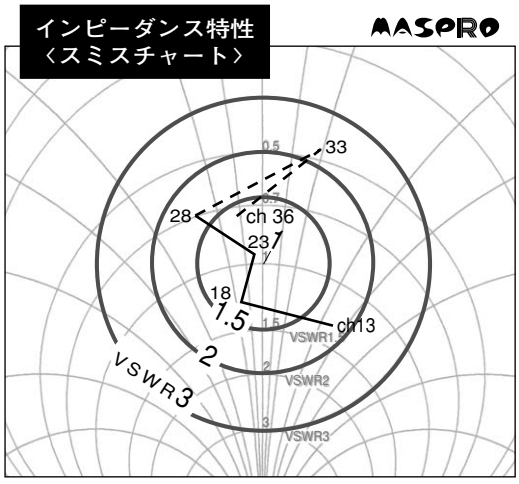
MASPRO



ch28　　半値角度 32°

インピーダンス特性〈スミスチャート〉

MASPRO



VSWRについて

VSWRは，インピーダンスの整合の度合を表したものです。VSWRが3以下(1に近いほどよい)なら，優れたアンテナといえます。

VSWR	整合損失(利得の低下)
1	完全整合で無損失
1.5	0.2 dB（損失）
2	0.5 dB（〃）
3	1.2 dB（〃）

すべてのグラフは，マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いたものです。

マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。保証します。

付属品

防水キャップ …… 1個

製品向上のため 仕様･外観は変更することがあります。

登録意匠　第804960号

マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町

技術相談　TEL名古屋(052)805-3366
受付時間(土 日 祝日、当社休業日を除く)
9～12時，13～17時

インターネットホームページ　www.maspro.co.jp

技術相談以外は，お近くの支店･営業所にお問合わせください。

支店･営業所

沖　縄	(098)854-2768	松　山	(089)973-5656	静　岡	(054)283-2220	前　橋	(027)263-3767
鹿児島	(099)812-1200	高　知	(088)882-0991	松　本	(0263)57-4625	水　戸	(029)248-3870
宮　崎	(0985)25-3877	高　松	(087)865-3666	福　井	(0776)23-8153	宇都宮	(028)660-5008
熊　本	(096)381-7626	姫　路	(0792)34-6669	金　沢	(076)249-5301	郡　山	(024)952-0095
長　崎	(095)864-6001	神　戸	(078)843-3200	新　潟	(025)287-3155	仙　台	(022)786-5060
福　岡㈱	(092)531-3861	大　阪㈱	(06)6635-2222	横　浜	(045)784-1422	盛　岡	(019)641-1500
北九州	(093)941-4026	工事営業部	(06)6632-1144	渋　谷㈱	(03)3409-5505	秋　田	(018)862-7523
下　関	(0832)55-1130	京　都	(075)646-3800	工事営業部	(03)3499-5631	青　森	(017)742-4227
広　島	(082)230-2351	津	(059)234-0261	青　戸	(03)3695-1811	札　幌	(011)782-0711
松　江	(0852)21-5341	岐　阜	(058)275-0805	八王子	(0426)37-1699	釧　路	(0154)23-8466
岡　山	(086)252-5800	名古屋㈱	(052)802-2233	千　葉	(043)232-5335	旭　川	(0166)25-3111
		工事営業部	(052)804-6262	さいたま	(048)663-8000	北　見	(0157)36-6606
		豊　橋	(0532)33-1500				

MAY, 2005

MASter of PROduction
生産の覇者

2K55-840
N-55-4840-1L